

スキスムSダイレクト45

ツキ板 タイプ

幅広145mmで樹種の美しさを表現したフローリング。

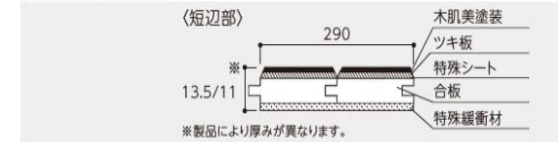
遮音性能△LL(I)-4(LL-45)をクリア。



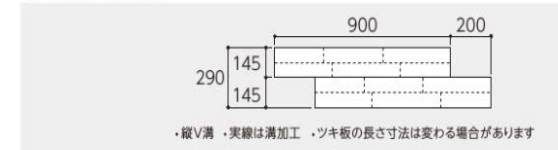
すり傷に強い	摩耗に強い	ワックスフリー	床暖房仕上材
ホットカーペットOK	抗菌加工		

¥45,000/ケース(3.13m²)

断面図(単位mm)



平面図(単位mm)



適応接着剤

ES-211/ES-280

Skism S

スキスムSダイレクト45

シート タイプ

天然木の美しさをリアルに再現した遮音フローリング。

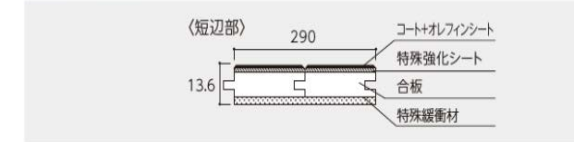
遮音性能△LL(I)-4(LL-45)をクリア。



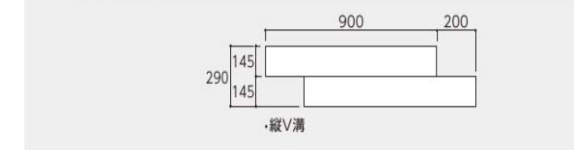
へこみ傷に強い	車イスOK	すり傷に強い	摩耗に強い
汚れが落ちやすい	ワックスフリー	床暖房仕上材	ホットカーペットOK
抗菌加工			

¥59,000/ケース(3.13m²)

断面図(単位mm)



平面図(単位mm)



適応接着剤

ES-211/ES-280

天然木	ツキ板 (全6色)	DXSA
〈ハーモニックホワイト色〉 DXSA-WH	〈パールパール色〉 DXSA-PP	〈ネイキッドライト色〉 DXSA-LN
〈グレースミディアム色〉 DXSA-GM	〈ショコラブラウン色〉 DXSA-CB	〈ディープブラック色〉 DXSA-DB

コート+オレフィンシート (全6柄)	DXSR
〈ハーモニックホワイト柄〉 DXSR-WH	〈ネイキッドライト柄〉 DXSR-LN
〈パールパール柄〉 DXSR-PP	
〈グレースミディアム柄〉 DXSR-GM	
〈ショコラブラウン柄〉 DXSR-CB	
〈ディープブラック柄〉 DXSR-DB	

■ご注意：印刷物と実物では色、材質感が違いますので実物のサンプルなどでご確認ください。レイアウトの関係上、品番が一部表示できない場合がございます。
特注品のサイズにつきましては、見積書をご確認ください。

直貼り遮音木質フローリング

施工説明書

このたびは弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全に美しく仕上げるために、施工の前に必ず本説明書をご一読ください。
開梱時に、万一、梱包や製品に傷等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
本説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で事故・部材の損傷等の問題が生じた場合は、保証をいたしかねますのでご注意ください。
独自に施工検証をしている場合に限り、その方法で施工していただいても構いませんが、弊社での責任は負いかねます。

安全上のご注意 表示方法

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。



禁止

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。



注意

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、注意を喚起するためのものです。



強制

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。



警告

1. 接着剤には健康に有害な物質を含有していますので、作業場所の換気を充分に行ってください。
使用前に接着剤容器に記載されている、安全に関する注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。
2. 施工完了後、引き渡し前に必ず工事管理者の安全点検を受け、不良箇所については補修してください。



強制



注意



禁止

1. **施工は直貼りの接着工法です。釘は使用しないでください。**
床暖房用として使用する場合、誤って床暖房パネルに釘を打つと水漏れやトラブルの原因になります。
2. 本製品は一般住宅（屋内）の上履き用です。
土足用としては使用しないでください。
3. よく水のかかる場所、湿気の多い場所には使用しないでください。

※誤った施工や取り扱いにおける苦情、返品、お取り替えには応じかねます。

〈お願い〉 4ページに「フローリングの美装作業手順・注意事項」を掲載しています。施工完了後、美装業者様にお渡しください。

■施工の前に

1. 下地

- 下地はスラブ厚が150mm以上あることが基本となります。
- モルタルもしくはセルフレベリング材が十分に乾燥してから床材を施工してください。（打設後3週間以上）

乾燥が不十分な場合、沈み、床鳴り、浮き、突き上げ、すき間等の原因になります。

＜乾燥状態の確認方法＞

最も乾燥しにくいと思われる部分（北側の部屋等）の下地表面を最低1カ所選定し、1m×1m程度のポリシートの四周を布テープ（ガムテープ）止めにより被覆密閉する。24時間以上放置後シート下の材面が黒く変色していないことを確認してください。

- モルタルもしくはセルフレベリング材は平滑に仕上げ、ゆるやかな不陸は1mにつき3mm以下、部分的な不陸は深さ3mmで100cm²以下としてください。
- モルタルもしくはセルフレベリング材表面の付着物や突起物は削って平滑にしてください。
- モルタルもしくはセルフレベリング材表面の油汚れ、砂やゴミは接着不良の原因になります。十分に清掃してから施工してください。

＜床暖房用として使用する場合＞

- 床暖房パネルを含めた下地が正しく施工されている事を確認してください。
- 床暖房パネルと床暖房パネル、床暖房パネルと周辺部（合板部）にすき間や段差のないよう（0.5mm以下）に調整してください。

2. 床材の取り扱い

- 床材は絶対にぬらさないでください。また直射日光は避けてください。
開梱後速やかに施工してください。
- 床材は高温多湿でない風通しの良い場所で水平に保管してください。（立てかけたり、地面に直接置かないでください。）



注意



注意

1. 木質材料ですので、ササクレによるケガには充分ご注意ください。
2. 施工、加工時の防じん対策として、マスク、手袋、保護メガネなどを着用してください。

3. 道具の準備

- 床材に ① 際根太用ボード ② くさび が同梱されているか確認してください。
- 本製品は接着施工です。必ず指定の専用接着剤を使用してください。
専用接着剤：ES-280（健康住宅対応低臭タイプ・ウレタン系）またはES-211（無溶剤ウレタン系）

室温条件	5℃以下の場合硬化が著しく遅れますので、室温を5℃以上に上げてから施工してください。
攪拌	攪拌の必要はありません。
貼り付け可能時間	50分（10℃～20℃）
塗布量の目安	600g/m ² （専用クシ目ゴテでムラなく塗布する）
オープンタイム	塗布直後から貼り合わせ可能です。オープンタイムをとっても粘着力は出ません。
再圧着	不陸などで床材が浮いている場合はよく押さえてください。
養生時間	実用強度3日
接着剤が床材表面に付着した場合	硬化すると取れなくなりますので、付着したらすぐに乾いたウエス、シンナーやアルコール（水は不可）を染みこませたウエスで拭き取ってください。
その他	一度開封した缶はできるだけ早く使用してください。使用した器具類は使用後ただちに溶剤などで洗浄してください。
有効期間	製造後6ヶ月（未開封）
特記事項	火気厳禁

- その他、施工に必要な道具を用意してください。
※ゴムハンマーは床材表面に色が付着しない材質のものを使用してください。

4. 仮並べ

- 施工前に仮並べを行い、色柄のバランスを考慮して割り付けてください。
- 極端に色柄が異なっている場合は、販売店様、最寄りの弊社営業部門まで速やかにご連絡ください。

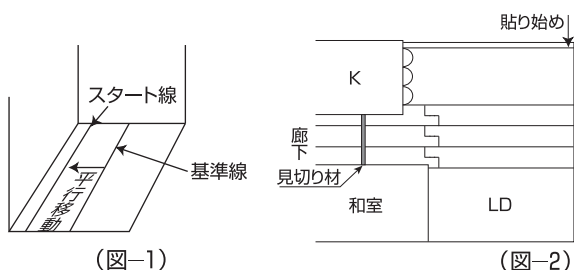
■ 施工手順

1. 下地の状態

- 十分に乾燥し、平滑であるか確認してください。
- 汚れは完全に拭き取り、ホコリや砂がないようきれいに清掃してください。

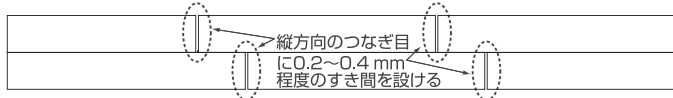
2. 割り付け・墨出し

- ① 部屋の中央部に基準線を引きます。(図-1)
- ② 廊下部分などとの取り合いを考慮し、貼り始めの位置を決定し、基準線を平行移動してください。(廊下部分と目を通す場合は、廊下を基準にして貼り始めのスタート線を決定すると割り付けがうまくいきます。)(図-2)
- ③ 短辺ジョイント部が隣り合わせにならないよう、バランス良くずらして施工してください。



玄関から廊下、リビングまでなど縦方向に長く連続して施工をする場合や、片端もしくは両端が上がり框・サッシ・敷居などで、すき間を設けない突き付け施工になる場合は、湿気による床材の伸びにより波打ち、突き上げ等が起こることがあります。これらを避けるために下記どちらかの対策をしてください。

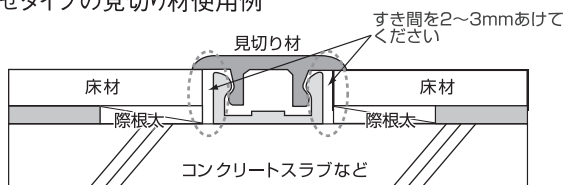
- ① 縦方向サネ接続部に0.2～0.4mm程度のすき間をあける。



- ② リビング入口、ドア下に見切り材を取り付けすき間を設ける。

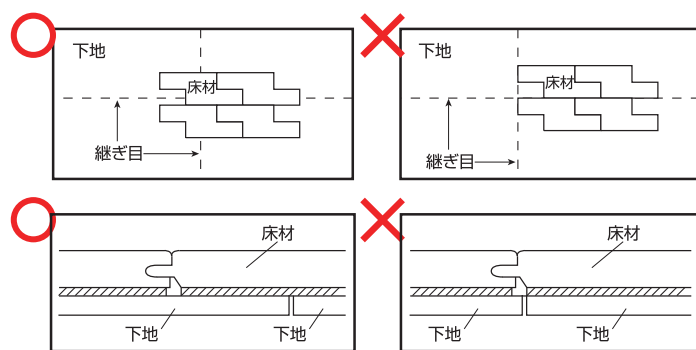
※ 見切り材はシャクリ加工のあるものか、かぶせタイプの見切り材を使用してください。

- かぶせタイプの見切り材使用例



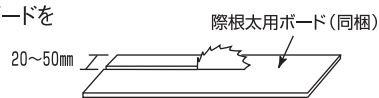
※ 割り付け上の注意点

- 下地(床暖房パネル、周辺部合板)の継ぎ目と床材の継ぎ目が重ならないようにしてください。
- 下地の動きに同調し、床材表面にすき間が生じる恐れがあります。

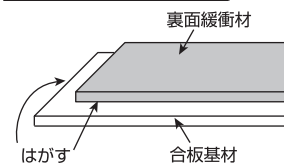


3. 際根太の取り付け・際部の処理

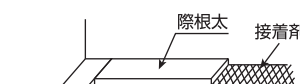
- ① 際根太は、同梱の際根太用ボードを幅20mm～50mmにカットして使用してください。



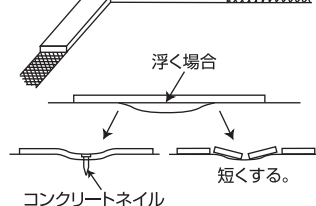
- ② 際根太を設置する部分は、床材の裏面緩衝材を際根太より少し大きめの幅ではがしてください。



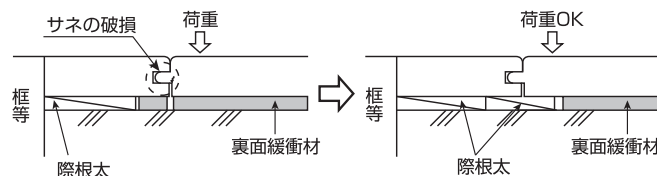
- ③ 下地面に接着剤を塗布し、際根太を置き、上から強く押さえます。



- ④ 際根太がなじまずに浮いている場合はコンクリートネールで固定するか、際根太の長さを短くして下地面になじませてください。



- 下図のような場合は、サネの破損が生じないように、際根太の幅を調整してください。



〈上がり框、見切り、ドアの下枠、敷居等の納まり部分〉

必ず際根太を使用してください。使用しないと段差、すき間、床鳴り等の原因になります。

〈壁際の幅木下〉

際根太を使用しなくてもかまいません。

際根太の設置はお施主様、ゼネコン様、施工業者様で協議のうえ決めてください。

- 際根太を使用する場合

壁際に家具を置くと傾く場合があります。

- 際根太を使用しない場合

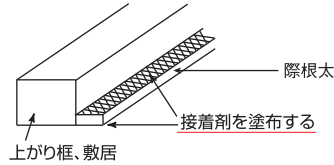
壁際を歩いたときや、家具を置いたときに幅木の下にすき間が生じます。

4. 接着剤の塗布

- ①専用接着剤(ES-280またはES-211)を専用クシ目ゴテにて下地面に塗布してください。
 - 一度にたくさん塗布せず、床材1列分ずつ塗布してください。
 - 必ず指定の接着剤・付属の専用クシ目ゴテを使用してください。
(指定以外のものを使用すると床鳴りの発生や接着不良の原因になります。)

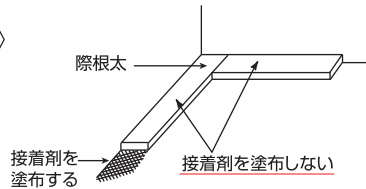
〈上がり框、敷居等突き付け部分〉

際根太上にも接着剤を塗布してください。



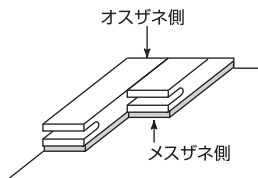
〈壁際の幅木下、かぶせタイプの見切り等伸びを吸収する部分〉

際根太上には接着剤を塗布しないでください。



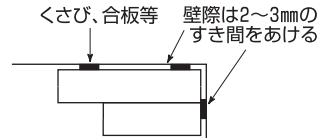
5. 貼り始め

- ①床材を切断し、オスザネが直接壁に接する場合はオスザネを切りおとし、壁に向かって右端よりメスザネ側を手前にしてスタート線にそろえて施工してください。



- ②床材の伸びを吸収するために、同梱のくさびや合板により壁際に2～3mmのすき間をあけてください。

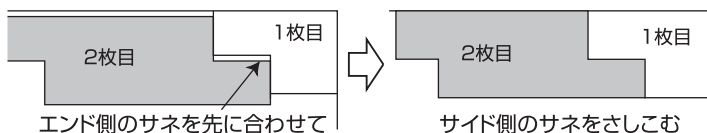
- すき間をあけないと、床材が伸びたときに突き上げや床鳴りの原因になります。



- ③接着施工のため接着剤が硬化するまでは動きますので、基準となる1枚目は動かないようにしっかり重石で固定してください。
- ④床材が浮く場合は、重石を載せてなじませてください。

6. 2枚目以降の施工

- ①1枚目のエンド部のメスザネに2枚目のオスザネを合わせ、スタート線に沿って貼ります。



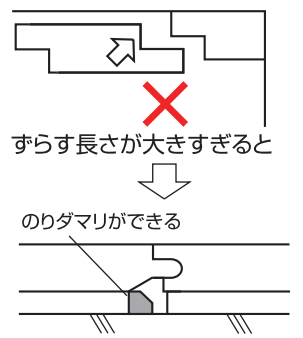
- 無理に叩き込んだり、蹴り入れたりせず、ジョイント部どうしは軽くふれる程度に寄せてください。
 - 施工時はやむを得ない場合を除き、床材の上に乗らないで作業を行ってください。
- ②以下順次、スタート線に合わせてサネを差し込みながら貼り進めます。

- 接着剤が床材表面に付着した場合は、乾いたウエス、シンナーやアルコール(水は不可)を染みこませたウエスを使用してすぐに拭き取ってください。

→接着剤は硬化すると取れません。

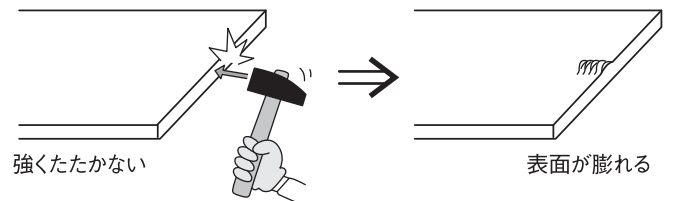
※水拭きの場合は、床材表面に接着剤が残り、ムラや汚れの原因になる可能性があります。

2枚目以降を貼る際は、床材を1枚目のすぐ近くにおいて、できるだけずらさないようにしてサネを差し込んでください。サネを差し込む時に床材を接着剤上でずらすと、サネの下側にのりダマリができ、その部分だけ歩行感が硬くなります。



きつく寄せすぎると床鳴り、突き上げや波打ち現象の原因になります。床材のジョイント部は軽くふれる程度に寄せてください。

床材の切断部分を強くたたくと表面が膨れる恐れがあります。



7. 2列目以降の施工

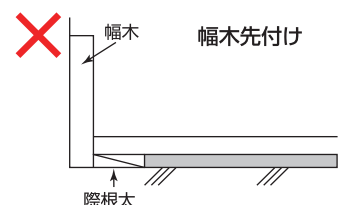
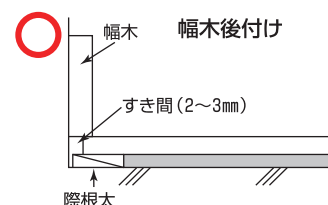
- ①2列目部分に接着剤を塗布します。
- ②1列目のメスザネにオスザネを差し込みます。この際も壁際はすき間をあけるようにしてください。
- ③以下、順次貼り進めます。

8. 貼りじまい

- ①貼りじまいは、床材どうしにすき間が生じない程度に寄せて、壁際は同梱のくさびや合板ですき間をあけてください。
- ②施工終了後、床材表面を検査し、すき間がある場合は詰めてください。また接着剤が付着している場合は速やかに拭き取ってください。接着剤は硬化すると、床材が動かず拭き取ることもできません。
- ③すき間確保のためのくさびや合板は1日後に取り外してください。

9. 幅木取り付け

- 幅木は必ず床材施工の後で施工してください。
- 幅木は部屋周辺部の床と壁のすき間が隠れる程度の厚さのものを使用し、部屋の周辺部のすき間を隠すように施工してください。



■養生

- ・施工後はきれいに清掃して水分や直射日光を避け、傷つかないようにすき間なく充分に養生してください。
- ・施工後、室内は充分換気してください。高温多湿の状態でごめ切っていると、床材の突き上げの原因になります。
- ・必ず弊社専用製品「エイダイ養生シート」「永大床養生テープ」を使用して、床材表面を保護してください。
- ・指定品以外のものを使用すると、床材表面を傷めたり変色、粘着剤が残ることがあります。
- ・養生シートの上から、ペンキや雨水等がかかるとシミになることがありますので注意してください。
- ・脚立や重量物を使用する際には、合板等の硬い材料で床材を保護してください。
- ・すべての工事が終わってから養生シートをはがしてください。
- ・養生テープをはがすときは、床材に傷をつけないように、ゆっくりと注意してはがしてください。

工事店様へ 本説明書を美装作業業者様にお渡しください。／美装作業業者様へ 美装作業前に本説明書をご一読ください。

フローリングの美装作業手順・注意事項

引き渡し前のクリーニングに際しては下記事項を遵守してください。

【クリーニングの手順】

- ①ホウキ、掃除機などで床材表面のゴミなどを取り除きます。
- ②床面以外の箇所（幅木、沓摺、壁など）を養生します。
- ③洗剤（中性）を希釈した洗剤液を作ります。
- ④洗剤液を含ませたモップまたは雑巾を固くしぼり、床材表面を洗剤拭きします。
※洗剤で除去しきれないこびりついた汚れ等の付着物は、床に傷をつけないように注意して除去する。
- ⑤床材表面の洗剤が乾かないうちに、きれいな水を含ませたモップまたは雑巾を固くしぼり、2回以上水拭きを行います。
- ⑥乾いたきれいなモップまたは雑巾でから拭きを行います。
- ⑦床材表面を充分乾燥させます。

〈誤った掃除で汚れてしまった場合の対処法〉

汚れた水を繰り返して使用したり、モップで水溶性の樹脂類（例：壁紙のり、石膏ボード補修パテ）が、石膏ボード粉、木粉等を巻き込みながら塗り広げられて乾燥した場合、拭きムラやくすみ、手跡や足跡が生じます。その場合も上記の手順でくり返し洗浄してください。

【クリーニング時の注意事項】

- ・多量の水を使った水洗いは厳禁です。モップは必ず固くしぼってください。
- ・床材表面に直接、水や洗剤を撒き散らさないでください。
- ・ワックス剥離剤は、床材表面の保護加工を侵すことがありますので使用しないでください。
- ・洗剤液用と水拭き用のモップ・雑巾は別のものを使用してください。
- ・洗剤分は完全に拭きとってください。
- ・床材表面に洗剤分が残ると、ワックスのハジキや白化、密着不良の原因になります。
- ・クリーニング後に、パラフィン系の化学雑巾またはフローリングワイパーを使用することは避けてください。

ワックスがけされる場合は、下記事項を厳守してください。

【樹脂ワックス塗布方法】

- ①樹脂ワックスを入れた容器の下にはビニールシートなどを敷いて、床材表面を保護してください。
- ②ワックス塗布専用モップに樹脂ワックスを含ませて、しずくが落ちない程度にしぼってください。
- ③床材表面に薄くムラなく（均一に）塗布してください。
床材の目地にワックスが溜まらないように塗布してください。
- ④樹脂ワックスを塗布した床材表面を充分に乾燥させてください。
※塗布後ぬれた状態では送風機による強制乾燥はしないでください。
※送風機は、表面が乾燥してから使用してください。

【樹脂ワックス作業時の注意事項】

- ・ワックスは下記のフローリング用樹脂ワックスを使用してください。
他のワックスはトラブル（はじき、はがれ等）の原因になります。

製品名	メーカー名
ユカメイク	永大産業(株)
ハイテックフローリングコート	(株)リンレイ

- ・以下の場合は樹脂ワックス塗布は避けてください。
室温、床材表面、樹脂ワックスの液温が5℃以下の場合。
直射日光により床材表面が高温になっている場合。
雨天などで湿度が高い場合。
床面がぬれている場合。
- ・樹脂ワックスを床材表面に直接撒き散らしたり、モップから垂らすことは避けてください。床材が膨れたり、シミになる原因となります。

【作業終了後】

- ・工事完了後は雨水等にぬれないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水にぬれた場合はすぐに拭き取ってください。
ぬれたまま放置すると、寸法変化、シミ、膨れなどのトラブルの原因になります。

詳細はカタログ「フローリング・室内階段・壁材」に「フローリングの美装作業手順・注意事項」を掲載していますので、作業前にご一読ください。弊社ホームページのデジタルカタログで確認していただけます。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com

建材事業部商品部 商品一課

お客様相談センター

0120-685-110

受付時間 平日・土曜日 9:00～18:00

休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始